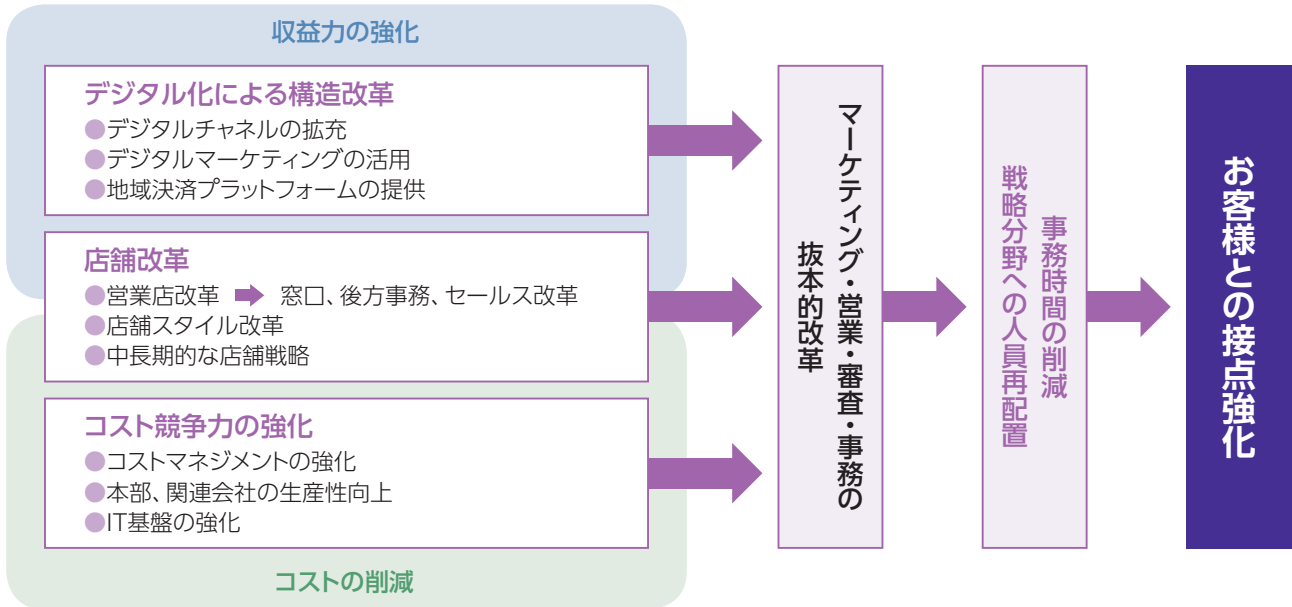


構造改革の推進

～抜本的な見直しにより、コスト削減と成長分野への資源の再配置を実現します

ごうぎん構造改革プロジェクト

合理化・効率化を徹底して追求し、生産性の向上を通じて捻出された人的資源・投資原資を成長分野に再配置することで、お客様への高度なサービス提供の実現を目指しています。具体的な施策として、「ごうぎん構造改革プロジェクト」と名づけた「デジタル化による構造改革」「店舗改革」「コスト競争力の強化」の取り組みを進めています。



プロジェクト KPI	総投資予算	収益増加	物件費	人員捻出
	50億円程度	6億円	▲13億円	10万時間(50人相当)

※2018～2020年度の3年間の削減目標、対2017年度比

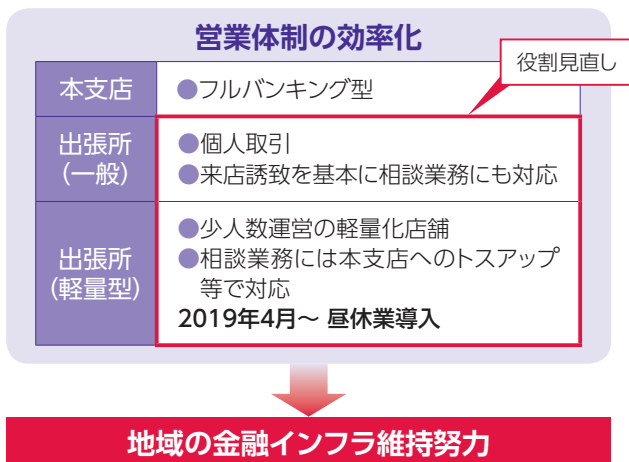
デジタル化による構造改革

業務の効率化により、行職員が全力で接客に注力できる体制の整備と、お客様の利便性向上に取り組んでいます。

	2018年度実績
RPA	事務時間7,033時間削減、34シナリオ作成
AI	HPのFAQ整備
インフラ	タブレット更新(スペック向上) ➡ 預り資産提案ツール拡充

店舗改革

2018年度、営業店の人員体制の見直しや、店舗の役割見直しによる営業体制の効率化を実施しました。



コスト競争力の強化

経営企画部内に「コストコントロールセンター」を設置し、個別の投資・支出案件を厳選しています。コストコントロールセンターを主体とした構造改革の成果は、経常経費の削減や、子会社内製化に伴う物件費・役務費用の減少など、昨年度1年間で約5億円となりました。

近年のグループ企業再編に関する取り組み

2018年 6月	(株)山陰経済経営研究所を解散、調査・研究業務を銀行に集約
2018年10月	(株)山陰オフィスサービスへの委託業務を内製化
2018年10月	(株)ごうぎん代理店を直営化